

## 別添資料②



令和6年度

### 図書館におけるネイチャーズブレイクモニター調査

令和7年3月17日

兵庫県立淡路景観園芸学校

兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科

豊田 正博

剣持 卓也

# 受託研究業務概要

## 1 業務の名称

学習塾等における鉢物類効用調査

## 2 業務の目的

花きの需要構造の変化が急速に進む中、花き産業関係者が一体となって、国産花きの消費拡大等の取り組みを推進するため、学習塾や図書館、高齢施設等、これまで消費者としての対象とはみなされていなかった施設における需要や、当該施設において花きが果たす役割を把握することが求められている。

これまでの調査の中で、我々はオフィス等におけるストレス軽減の効果を明らかにしてきたが、学習塾や図書館といった集中を要する作業に取り組む人が多く訪れる場所においてもストレス軽減に有用であると考えられ、令和5年度には泉大津図書館において、観葉植物等を利用したネイチャーブレイクモニター調査を行った。その結果、観葉植物を机に置いて読書や学習を行うことが好意的に受け入れられ、また、リラックス効果を得られたとの回答が多く得られたことから、今年度は対象地を全国各地に拡大して調査を行うこととした。

本調査は農林水産省の令和6年度持続的生産強化対策事業のうち、ジャパンフラワー強化プロジェクト推進事業の一環として、全国鉢物振興プロジェクト協議会から委託を受けたものである。

日本インドア・グリーン協会及び屋内緑化推進協議会等と連携して、両調査を行う。

## 3 業務内容

調査協力を得た図書館に植物育成用 LED 照明を備えた棚を設置し、ミニ観葉植物 40 鉢程度を貸与する。モニター調査期間中、図書館利用者に対するアンケート調査を行い、図書館利用者が机上に植物を置くことによって感じる効果や印象などについて調査する。

## 4 委託希望教員

豊田正博 劔持卓也

## 5 業務期間

委託契約締結日から2025年3月17日までとする。

事業開始日は、委託契約締結日とする。

## 6 委託上限金額

600千円（税込）

# 図書館におけるネイチャーブレイクモニター調査

## I. 研究概要

### 1. 調査方法

#### 1) 概要

本調査では、調査協力を得た 12 の図書館の利用者に対して、好みの観葉植物を自席の机に置きいて過ごす際に感じた効果や、このような取り組みに対する印象、選んだ植物への好感度を調査することで、図書館内に植物を設置し、利用することの効果や影響を調査した。

#### 2) 調査協力者の募集

図書館利用者の目につきやすい場所に植物棚を設置し、モニター調査依頼のチラシを掲示して、個人情報を得ない形で協力者を募った。また、各図書館職員からも独自のチラシやポスター等により、利用者に対してモニター調査への協力を依頼した。

#### 3) 検証期間

令和 6 年 7 月 1 日（月）～11 月 30 日（土）

※各図書館により調査期間は異なり、上記期間中 2～3 ヶ月程度実施

#### 4) アンケート項目

- ・ 回答日
- ・ 性別（男性・女性・回答したくない）
- ・ 年齢（-10・10-19・20-29・30-39・40-49・50-59・60-69・70-19・80- ）
- ・ アンケートへの回答回数
- ・ 図書館の利用目的（読書・仕事・学習・その他）
- ・ 滞在時間（1 時間未満・1 時間・2 時間・3 時間・4 時間・5 時間・6 時以上）
- ・ 選んだ植物（番号・植物名）  
選んだ理由（自由記載）
- ・ 植物の好感度
- ・ 机上に植物を置くことで感じた効果  
（リラックス・目の疲れ軽減・肩こり軽減・集中力向上・アイデアがわく）
- ・ 今回の取り組みについて（続けてほしい・不要・わからない）
- ・ 図書館以外でネイチャーブレイクしてみたい場所（自宅・勤務先・学校・他）
- ・ 自由意見欄（自由記載）

## 5) 使用植物

各館により、設置した植物は異なるが、大きく分けて①コチョウラン、②サボテン、③観葉植物の3種を含むものとした（12館のうち1館のみサボテン設置なし）。植物の大きさは高さが20cm～30cm、幅が15cm～20cmであった。



図1. 設置したサボテンと観葉植物

（左から順にサボテン サボテン フィロデンドロン サンセベリア ポリシヤス）



図2. 設置したコチョウラン

## Ⅱ．結果・考察

### 1．アンケート調査回答数

12 の図書館において実施したモニター調査におけるアンケート用紙 854 枚を回収した。

### 2．検証時の様子

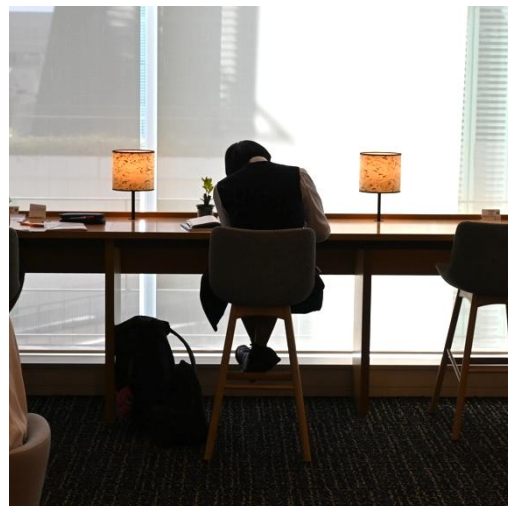
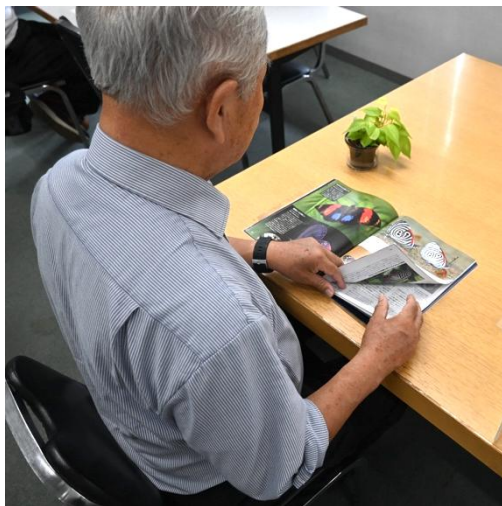


図 4．図書館におけるネイチャーブレイク時の様子



図 5．各図書館に設置した植物育成用 LED 照明のついた棚と植物の例

### 3. アンケート結果

#### 3-1. 回答者の性別

回答者全体の性別は男性 32.8%，女性 66.0%，回答したくない 1.2%であった。

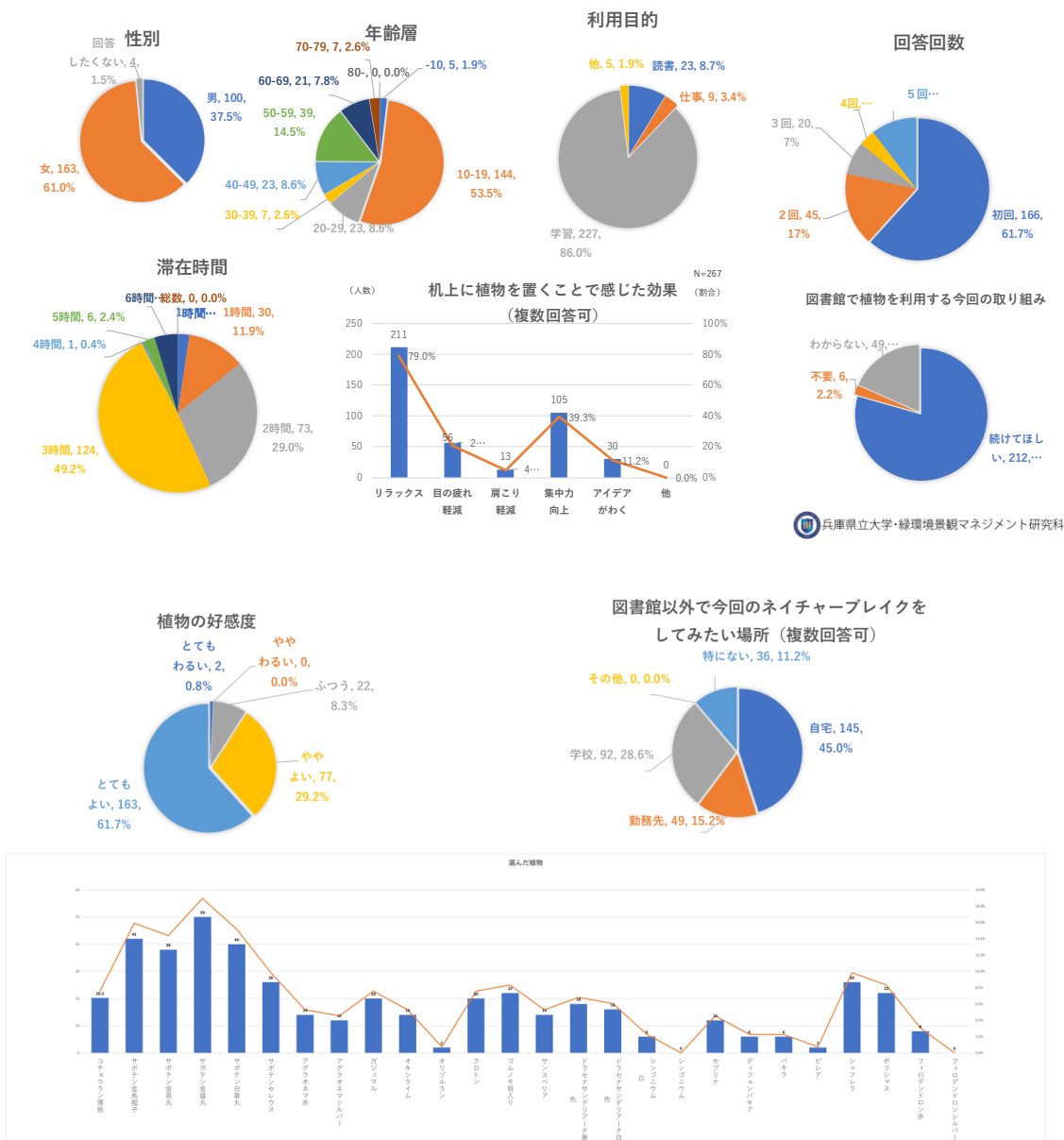
#### 3-2. 図書館の利用目的別回答結果

図書館の利用目的別に分けると、6館で「学習」を主な目的とする利用者の回答が多く、3館で「読書」、2館で「仕事」を主な利用目的としていた。残りの1館は利用目的の偏りがなかった。以下、①学習を目的とする利用者が半数以上の図書館、②仕事を目的とする利用者が半数以上の図書館、③読書を目的とする利用者が半数以上の図書館、④利用目的に偏りのない図書館、の4グループに分けて結果を示す。

なお、葉色・花色等も同じ植物を複数設置した場合は、1鉢のみ設置した植物と比べて選択しやすくなるため、選択した数の合計を設置した鉢数で割った値を選択者数として集計した。特にコチョウランで複数の鉢を置く事例が多くみられた。「選んだ植物」の棒グラフ上の数値がコチョウランで少数まで記載されているのはそのためである。

①学習を目的とする利用者が半数以上の図書館（A～F）

A 堺市立西図書館 ネイチャーブレイク体験 アンケート結果 回答数 264

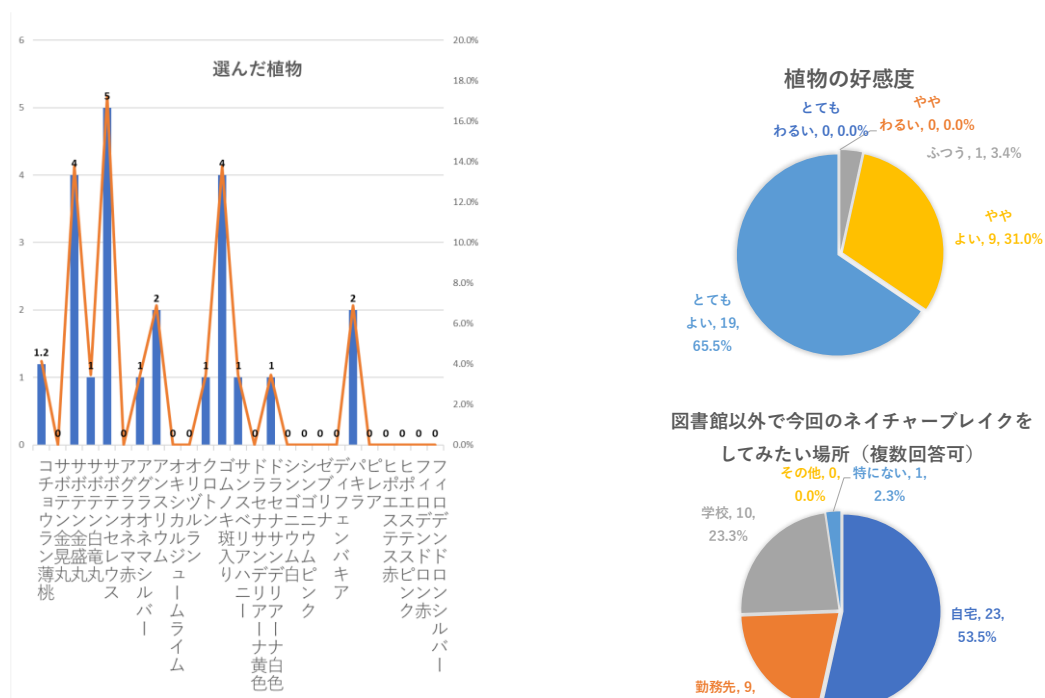
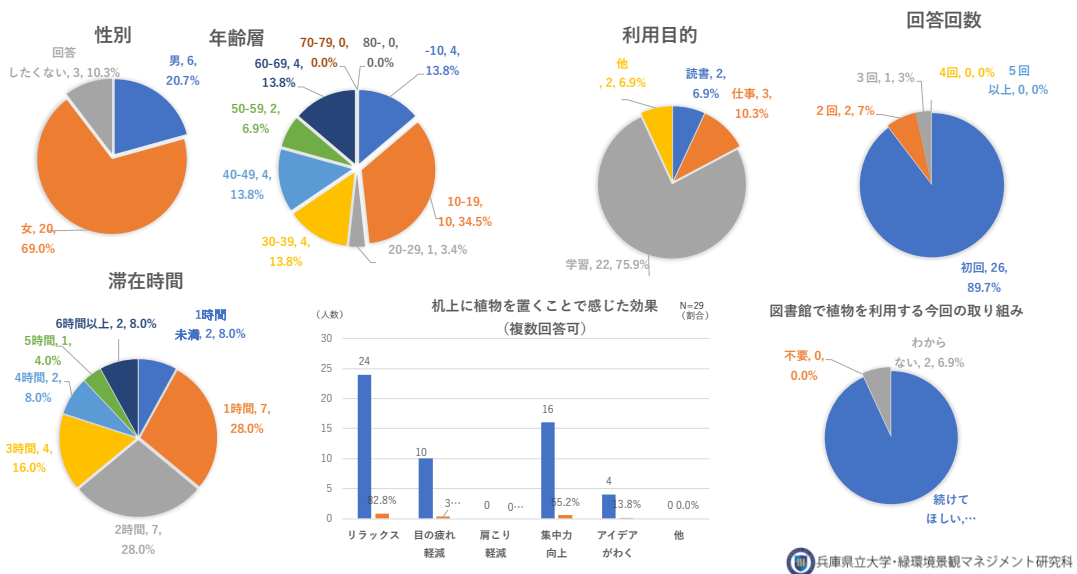


コショウラン：5鉢設置のため、5鉢の選択数合計49（人）を5で割り、グラフを作成

図6. 堺市立西図書館（A）の結果 回答数 267



B 豊中市立野畑図書館 ネイチャーブレイク体験 アンケート結果 回答数 29



コチョウラン：6鉢設置のため、6鉢の選択数合計7（人）を6で割り、グラフを作成

図 7. 豊中市立野畑図書館 (B) の結果 回答数 29



C 立川国際中等教育学校附属図書館 ネイチャーブレイク体験 アンケート結果 回答数 43

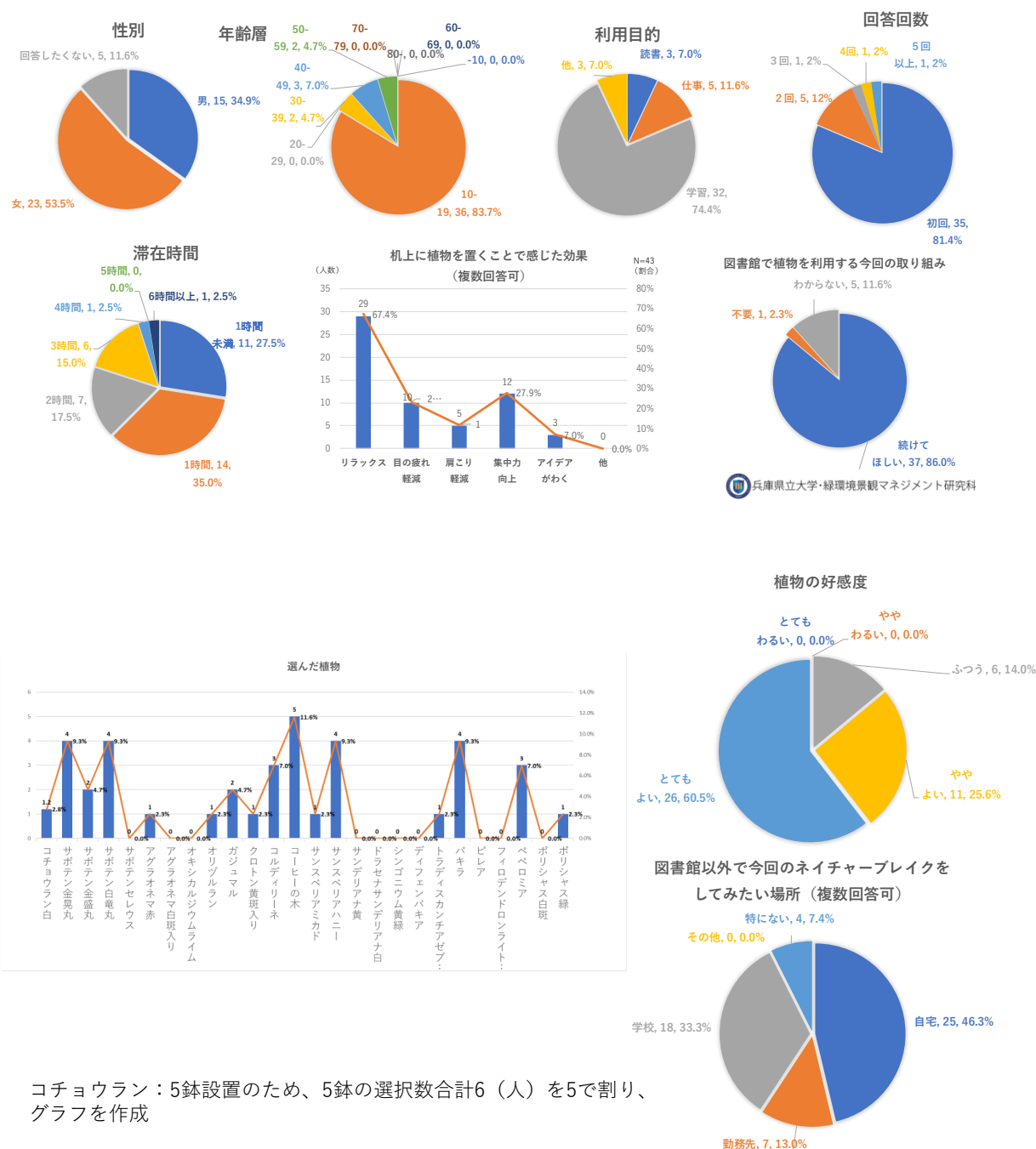
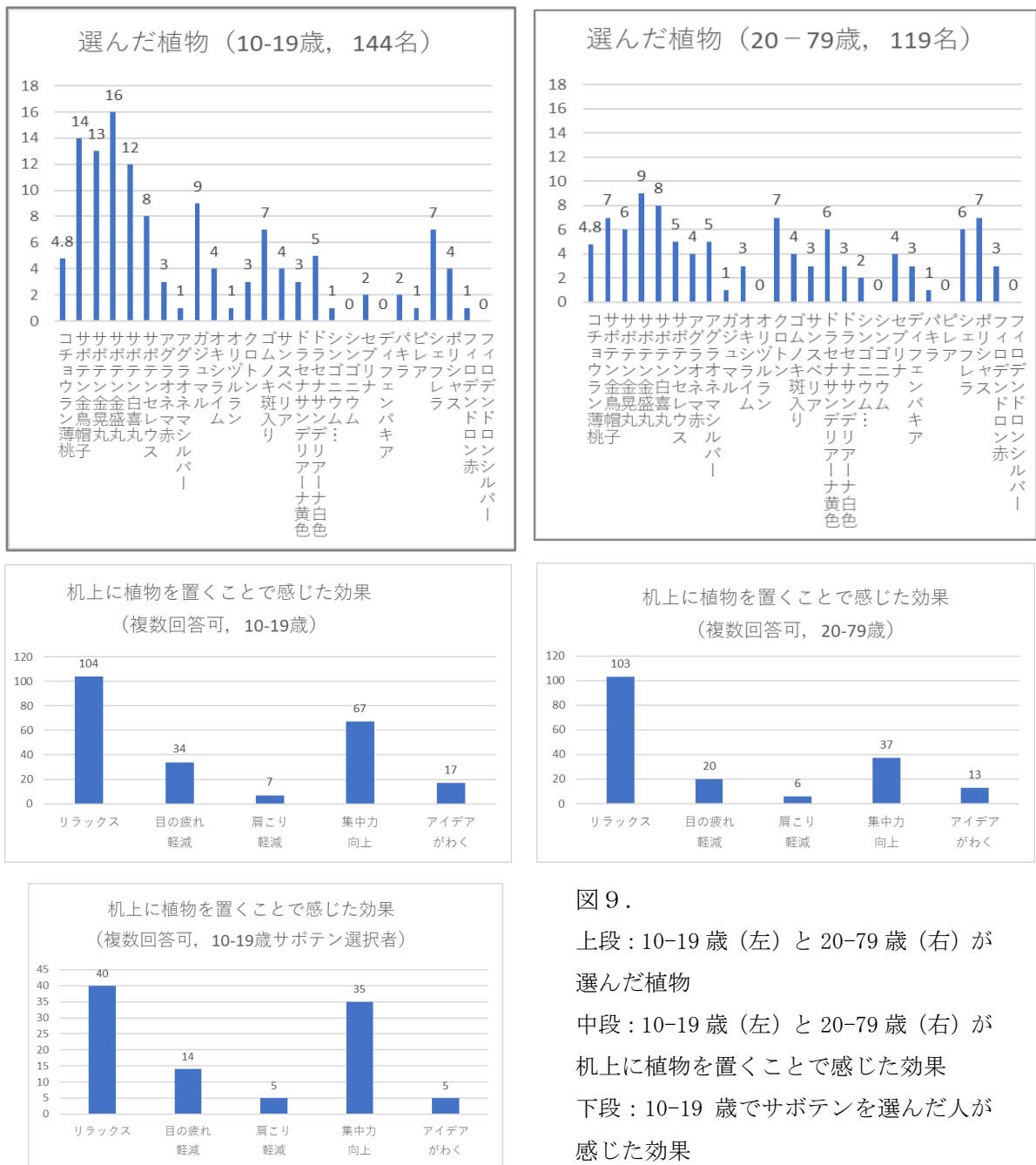


図8. 立川国際中等教育学校附属図書館（C）の結果 回答数 43

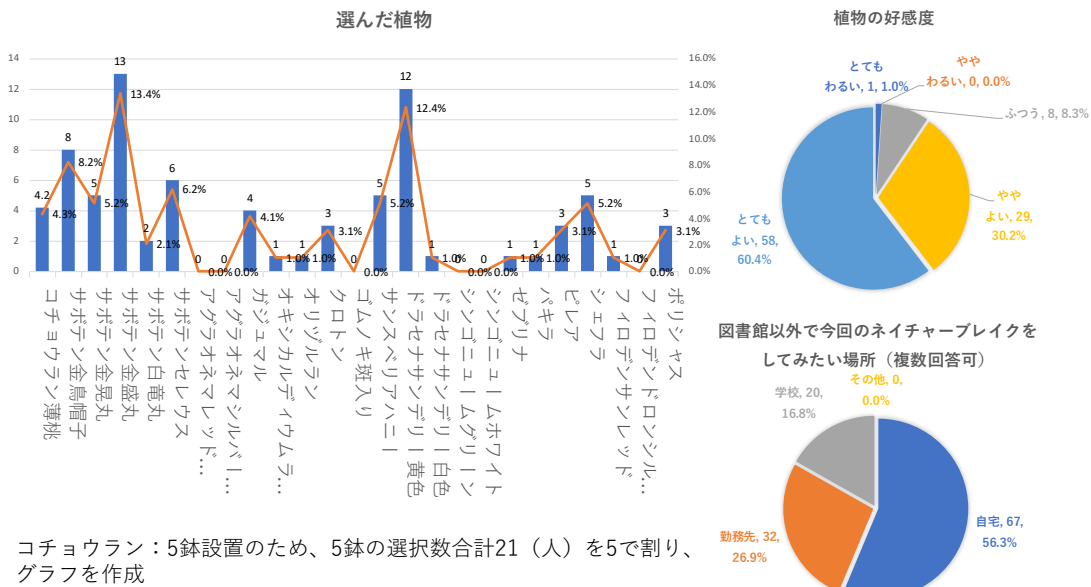
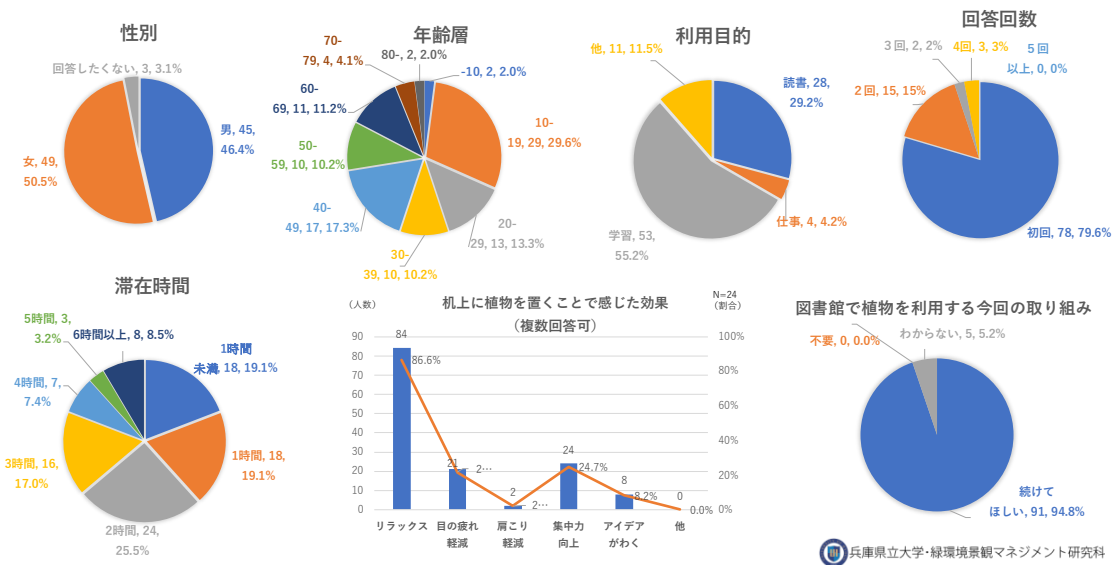
A～Cまでの図書館はいずれも利用目的の回答で「学習」と回答した割合が高く、Aから順に86.0%、75.9%、74.4%だった。また、年齢は10歳代が比較的多いことが特徴であり、Aでは10歳代の利用者が53.5%、Bでは34.5%、C

では 83.7%を占めた。

中でも、10-19 歳の割合が最も高い A (53.5%) では 5 種のサボテン選択者が 144 人中、8 人-16 人 (5.6%-11.1%) で他の植物と比べて相対的に高く特徴的であった (図 9 上段左)。一方、20-79 歳 (119 人、44.6%) では、サボテンも多く選ばれているが、特別に多いとまではいえない状況であった (上段右)。机上に植物を置くことで感じた効果はいずれも「リラックス」、「集中力向上」の順 (中段 左右) で、10-19 歳のサボテン選択者についても同様 (下段) であり、植物の種類に関わらず同様の感じ方がみられた。



D 立川市中央図書館 ネイチャーブレイク体験 アンケート結果 回答数 24



コショウラン：5鉢設置のため、5鉢の選択数合計21（人）を5で割り、グラフを作成

図 10. 立川市立中央図書館（D）の結果 回答数 97

E 豊橋市まちなか図書館 ネイチャーブレイク体験 アンケート結果 回答数 81

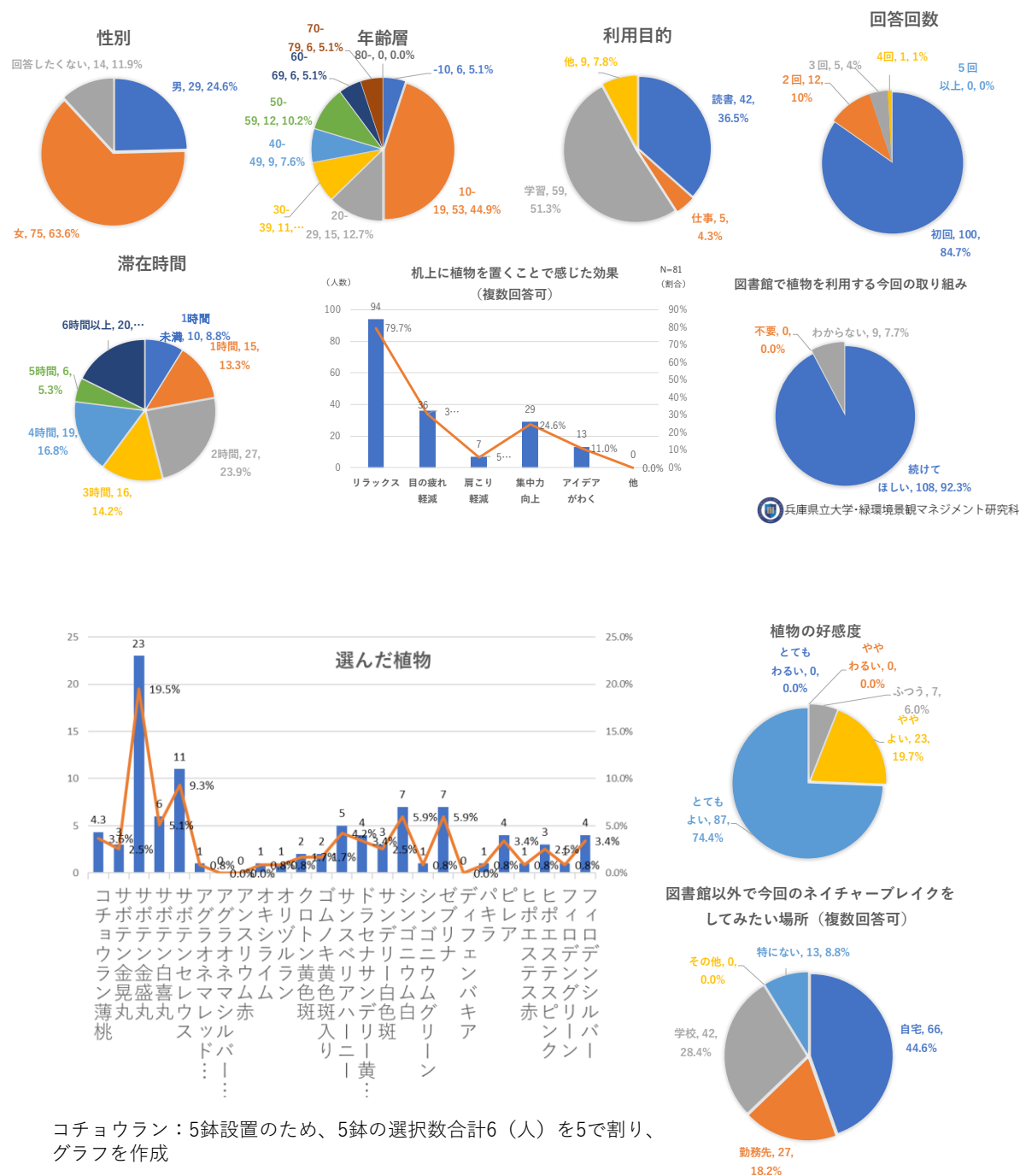


図 11. 豊橋市まちなか図書館（E）の結果 回答数 118

F 泉大津市立図書館 ネイチャーブレイク体験 アンケート結果 回答数 13

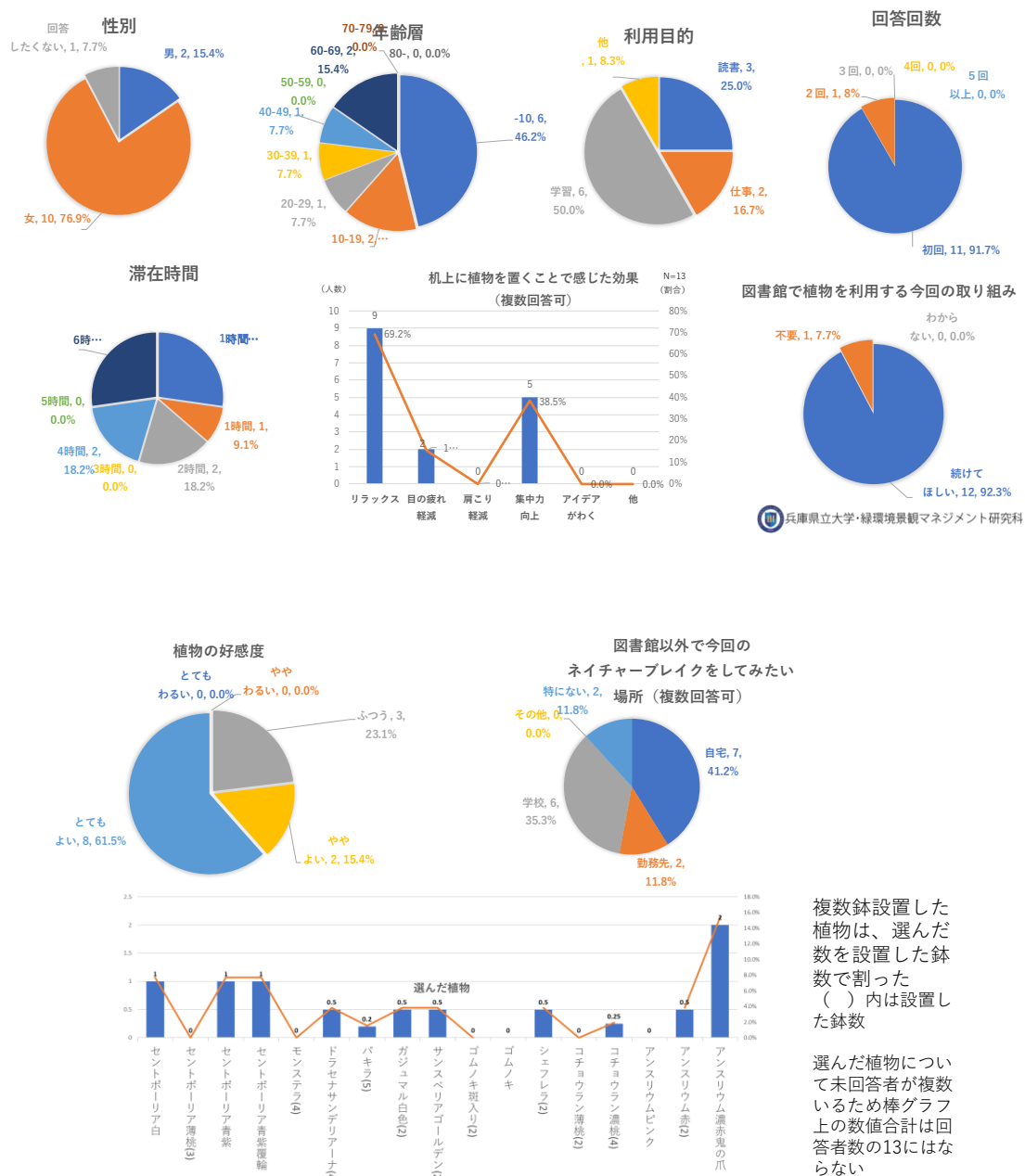


図 12. 泉大津市立図書館 (F) の結果 回答数 13

D～F の図書館においてもサボテン（金鳥帽子，金盛丸）は選ばれる回数が多かった。他にはドラセナサンデリアーナ（立川市立中央図書館）が高かった。机上に植物を置くことで感じた効果はいずれも「リラックス」が最も多く，次いで2館では「集中力向上」の順，1館では「目の疲れ軽減」であったが，A～C とほぼ同傾向の結果であった。

②仕事を目的とする利用者が半数以上の図書館（G～H）

G 広島市都市学園大学付属西風図書館 ネイチャーブレイク体験 アンケート結果 回答数40

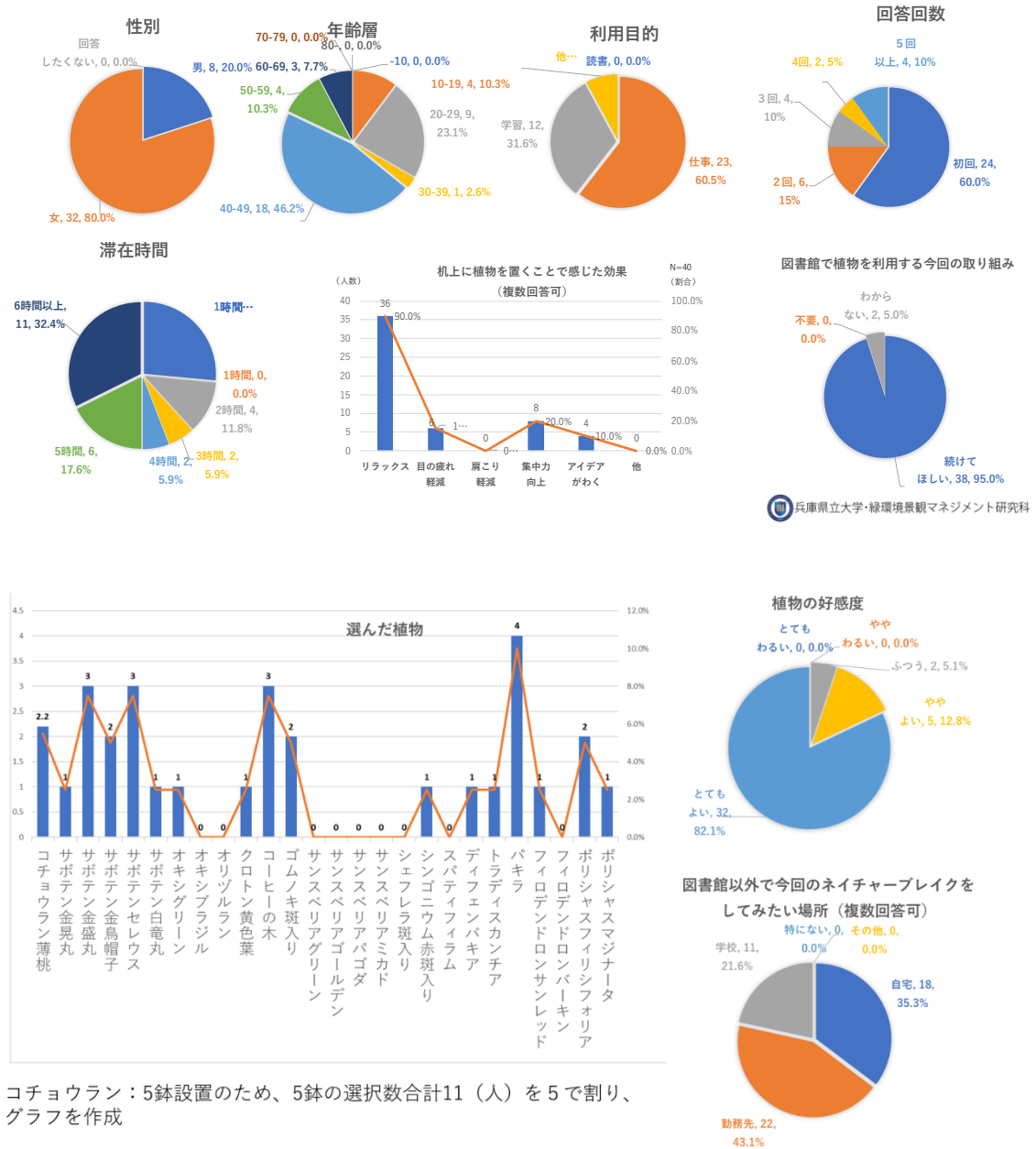


図 13. 広島市都市学園大学附属西風図書館（G）の結果 回答数 40

## H 広島都市学園大学附属宇品図書館 ネイチャーブレイク体験 アンケート結果 回答数 18

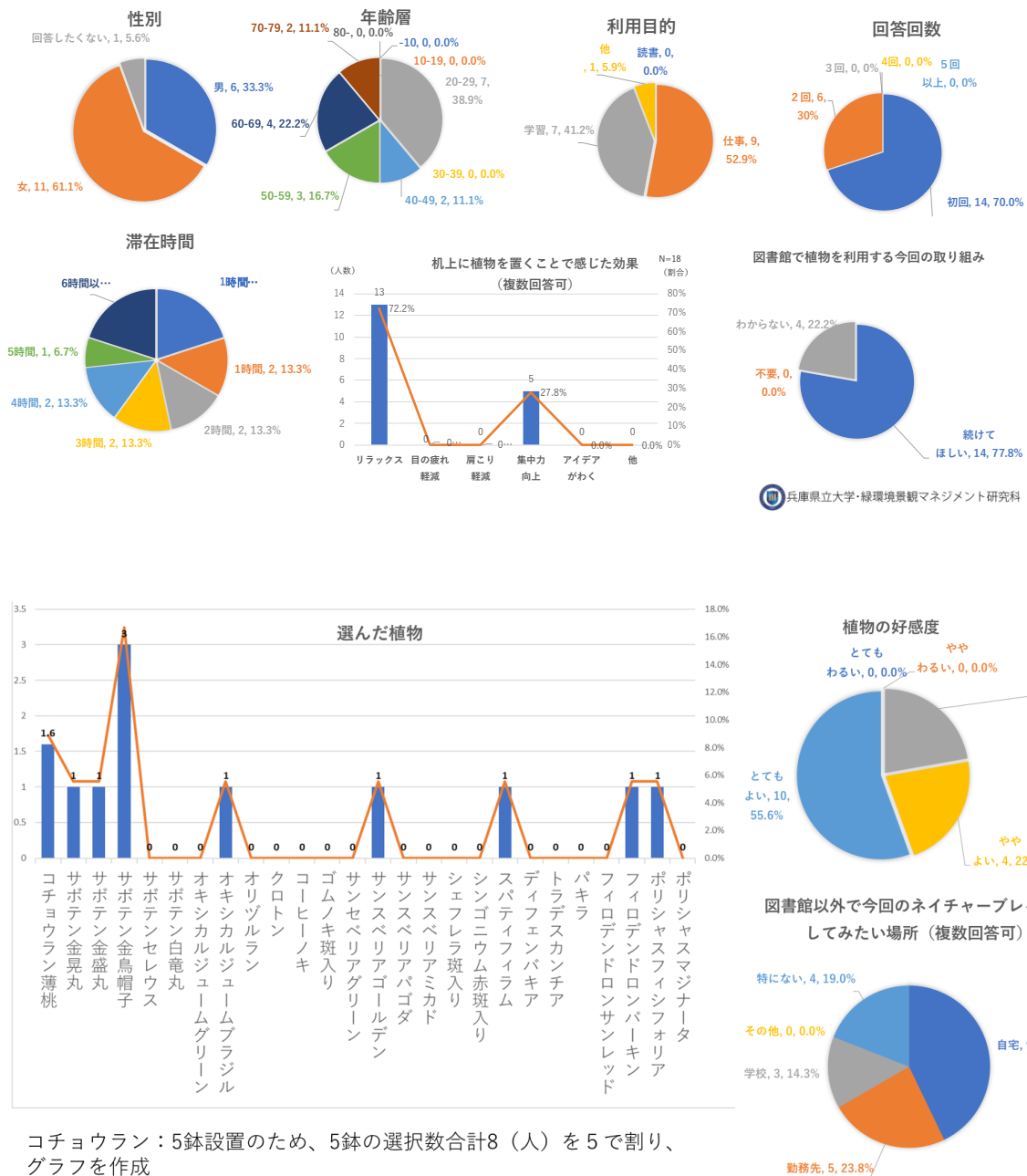


図 14. 広島市都市学園大学附属宇品図書館（H）の結果 回答数 18

G と H の図書館の回答者では利用目的を「仕事」とした人が、G が 60.5%，H が 52.9%と多かった。年齢別では、G では 40 歳代が 46.2%を占めた。一方、H は 20 歳代が 38.9%を占め、次に多かったのは 60 歳代の 22.2%だった。20 歳代には学生が多く含まれ、他の年齢には職員が含まれると推察された。机上に植



物を置くことで感じた効果はいずれも「リラックス」が最も多く、次いで「集中力向上」で、学習目的の人の割合が多い図書館（A～F）と同傾向であった。

### ③読書を目的とする利用者が半数以上の図書館（I～K）

I

#### 亀岡市立図書館 ネイチャーブレイク体験 アンケート結果 回答数 78

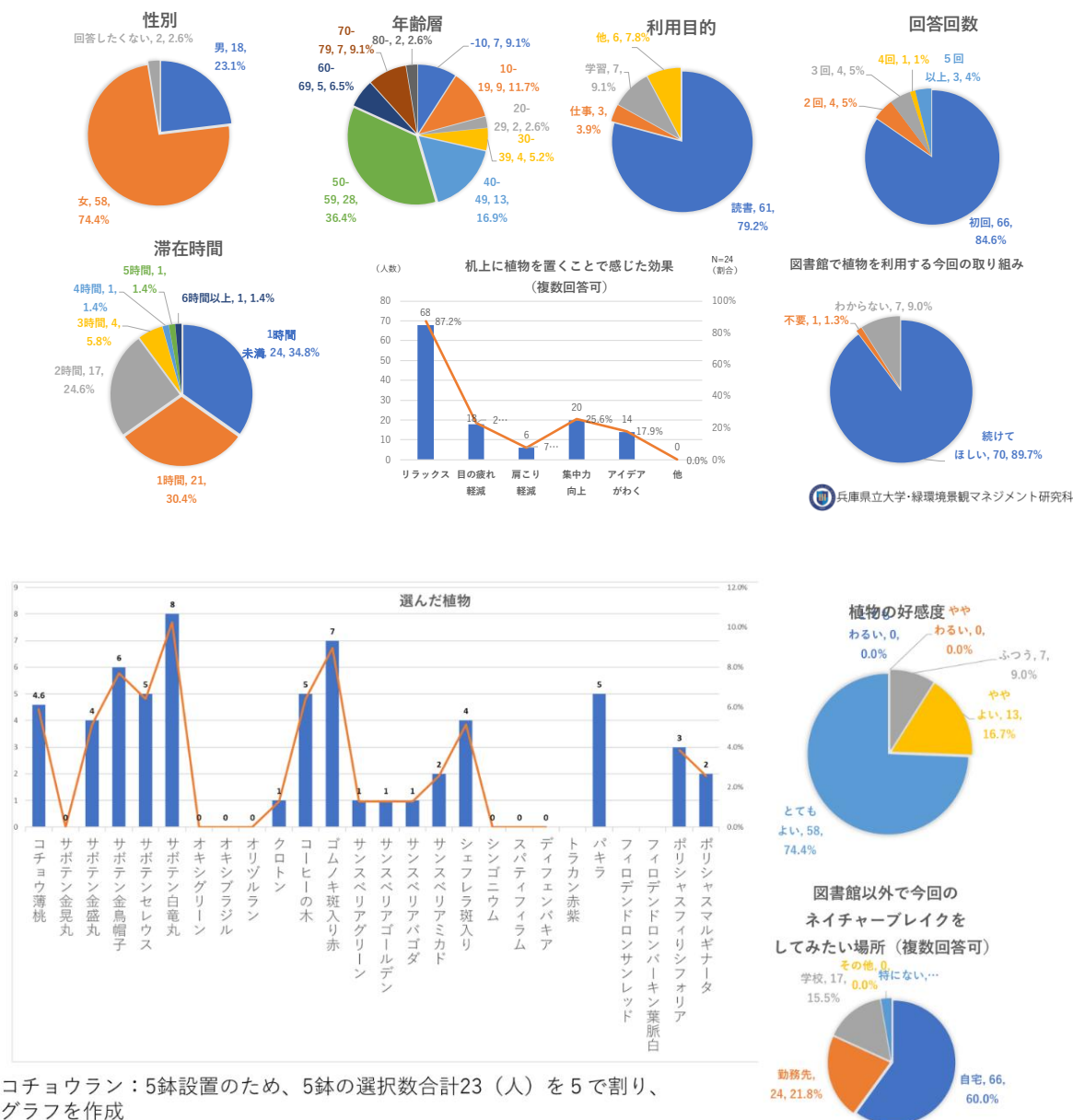
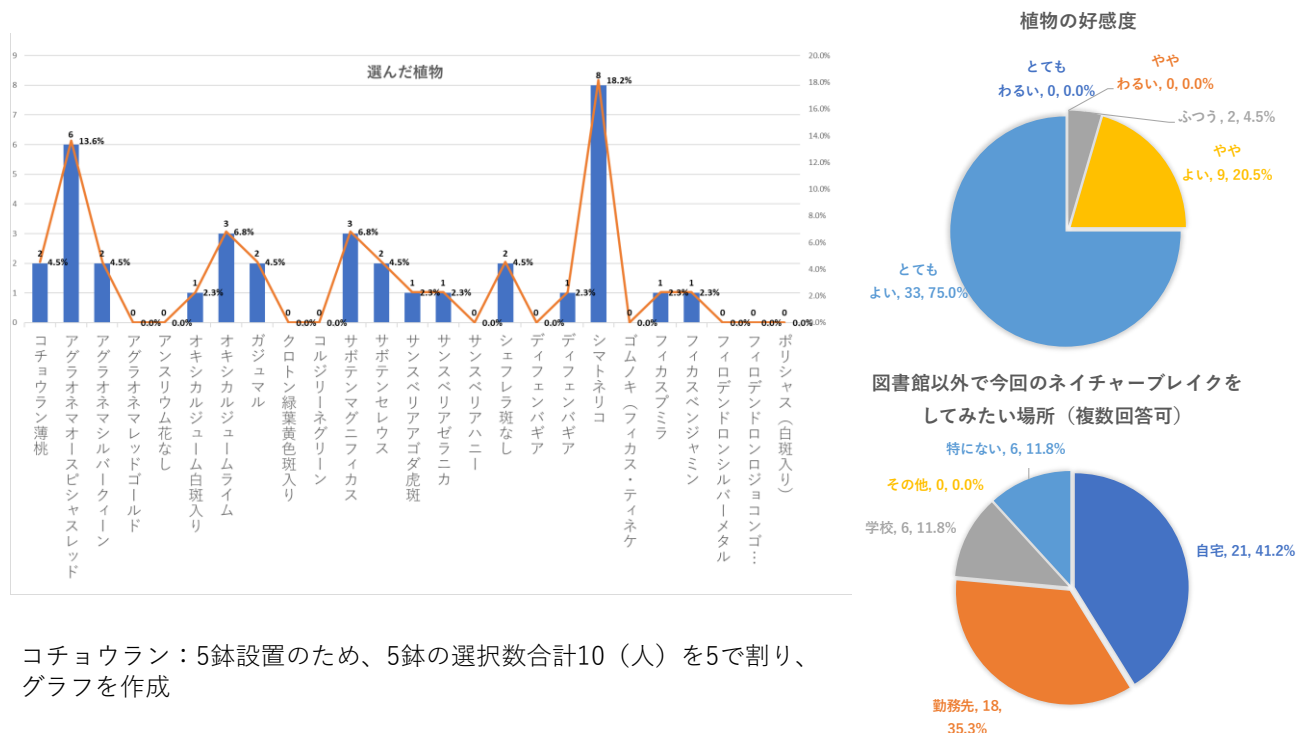
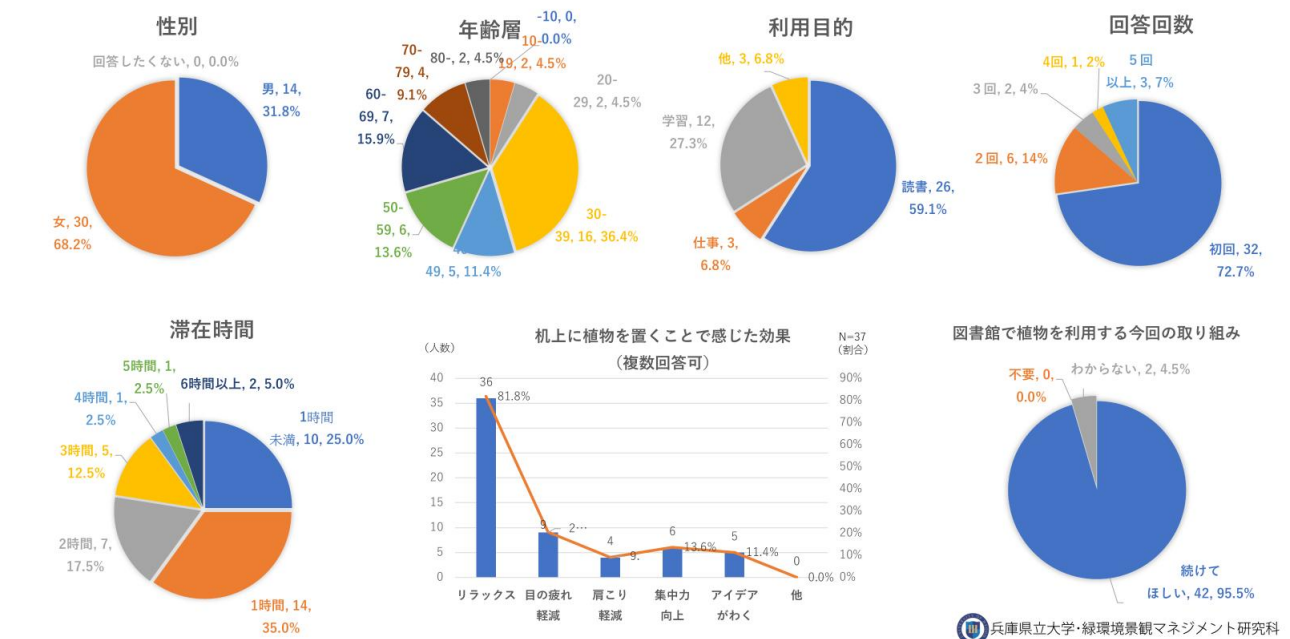


図 15. 亀岡市立図書館（I）の結果 回答数 78

## J 柏市立図書館 ネイチャーブレイク体験 アンケート結果 回答数 37



コチョウラン：5鉢設置のため、5鉢の選択数合計10（人）を5で割り、グラフを作成

図 16. 柏市立図書館（J）の結果 回答数 44

# K 鴻巣市立鴻巣中央図書館 ネイチャーブレイク体験 アンケート結果 回答数 51

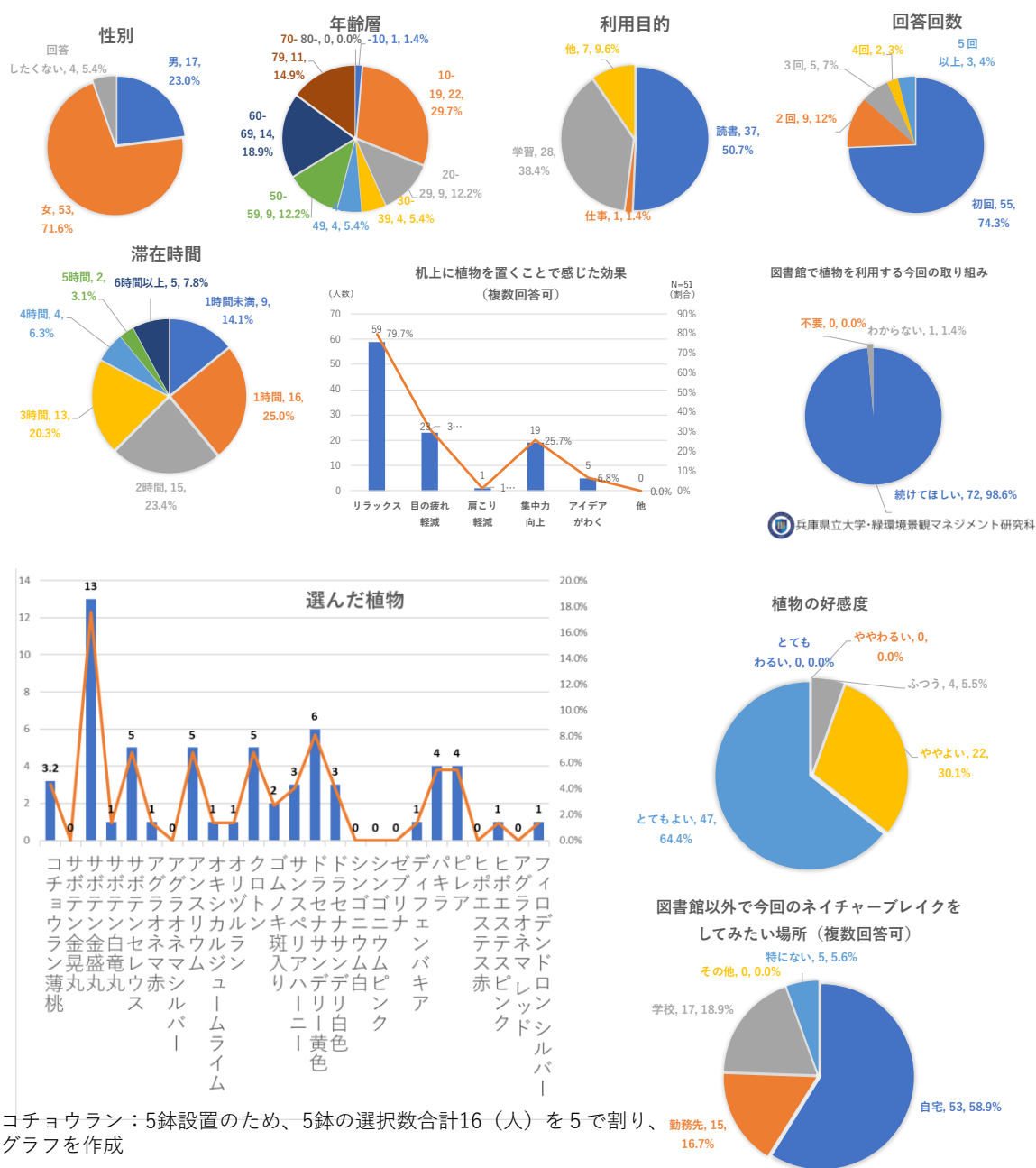


図 17. 鴻巣市立中央図書館 (K) の結果 回答数 74

I～K までの図書館の回答者では利用目的「読書」が、I から順に 79.2%、59.1%、50.7%と最も多かった。選択された植物では、サボテン（白竜丸、金盛丸）、ゴムノキ（斑入り）、パキラ、シマトネリコ、アグラオネマオースピシヤスレッドなどの人気が高かった。机の上に植物を置くことで感じた効果はどれも「リラックス」が最も多く、「目の疲れ軽減」、「集中力向上」が続いた。

#### ④利用目的に偏りのない図書館（L）

### L 豊中市立岡町図書館 ネイチャーブレイク体験 アンケート結果 回答数 33

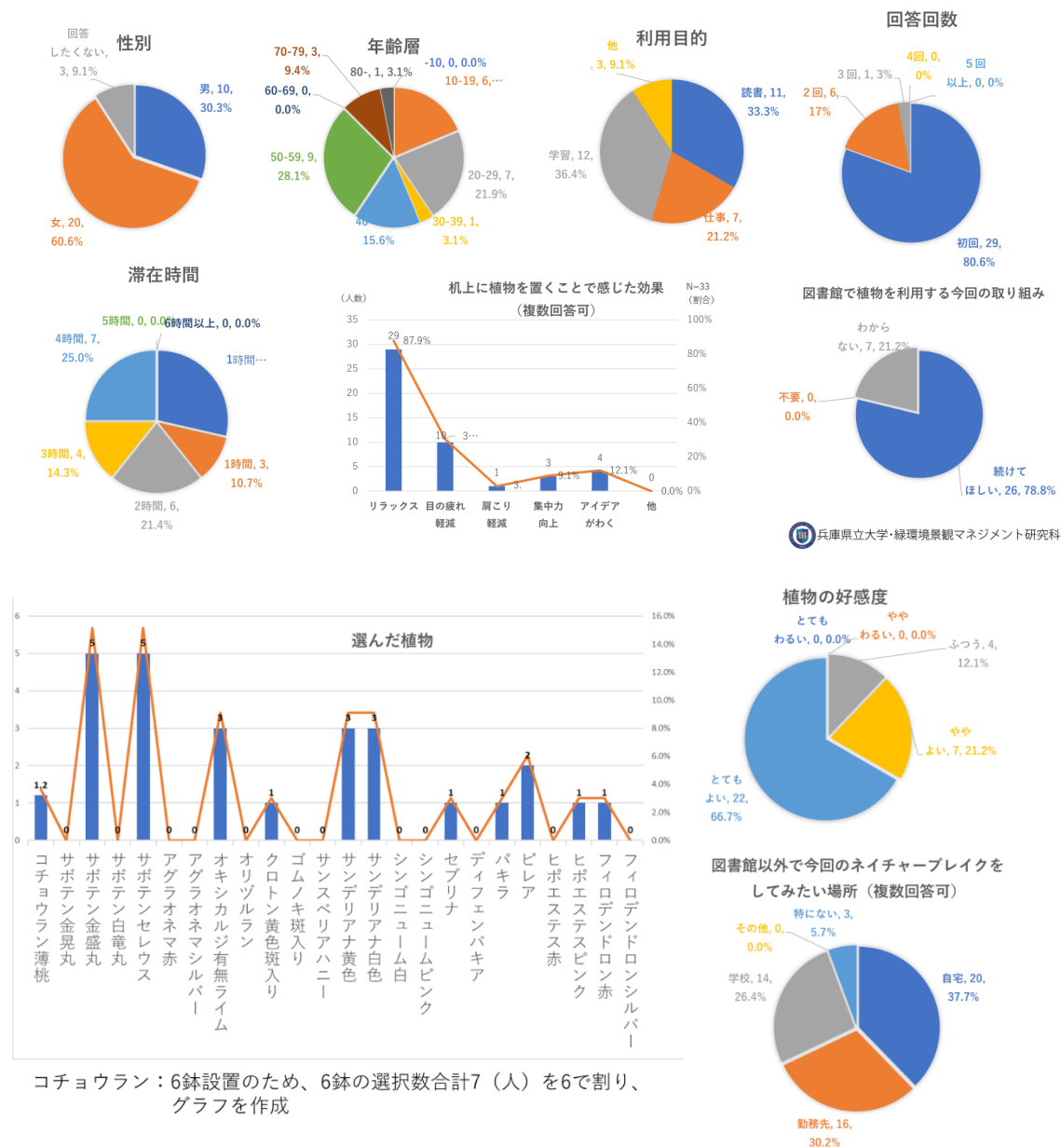


図 18. 豊中市立岡町図書館（L）の結果 回答数 33

L 図書館では利用目的の偏りが少なく、「読書」33.3%、「仕事」21.2%、「学習」が36.4%だった。年齢も比較的偏りが小さく、50歳代が最も多く、28.1%、次いで20歳代の21.9%となった。机上に植物を置くことで感じた効果はいずれも「リラックス」が最も多く、次いで「目の疲れ軽減」、3番目が「アイデアがわく」となった。

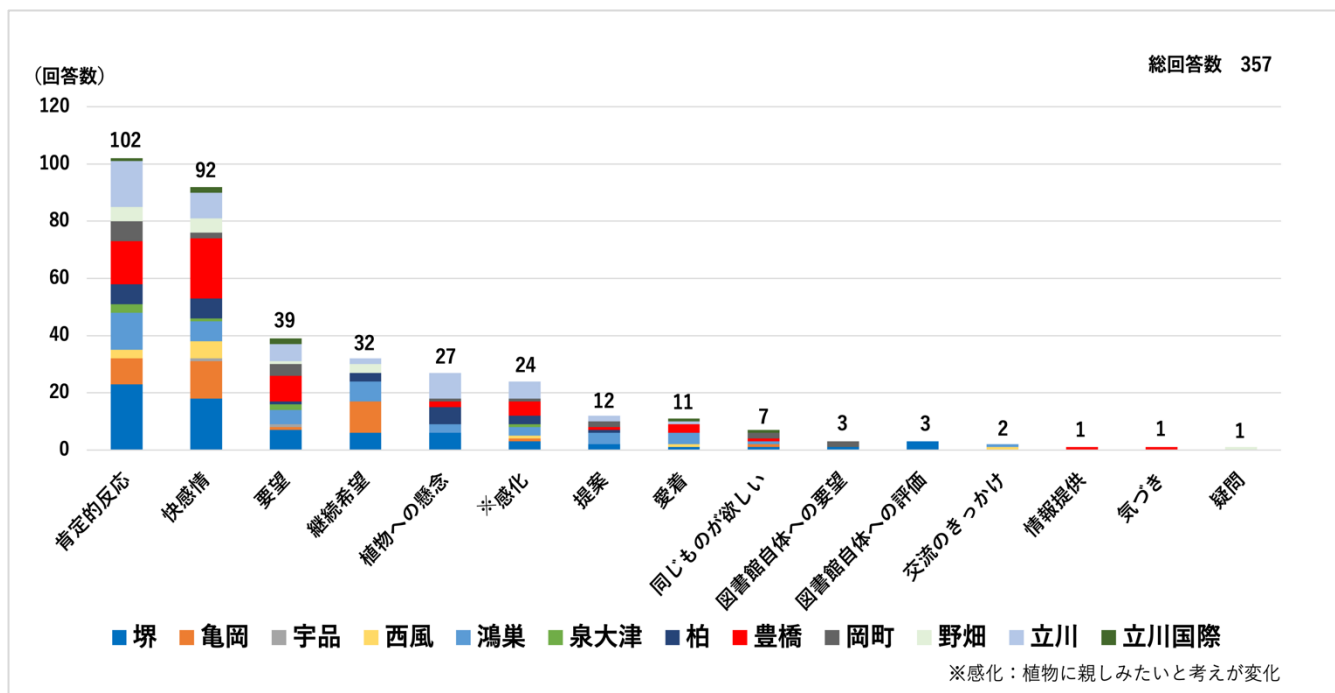


図 19. 自由意見のカテゴリー化と回答数

### 3-3. 自由意見の結果

総回答数 854 のうち、自由意見にコメントが記載されていた回答数は 357 だった。得られた自由意見のうち、類似したものをまとめてカテゴリー化を行ったところ、15 のカテゴリーに分類することができた。図 18 ではそれらのカテゴリーを回答数順に示す。

今回の取り組みに対しては、＜肯定的反応＞および＜快感情＞に分類される回答が多く得られた。＜肯定的反応＞に分類される回答は「面白い取り組みで新鮮でした」、「とてもいいアイデアだと思います」、「自宅に植物はあるが、ネイチャーブレイクという使い方はしたことがなく、とても良い体験になった」が具体的な例として挙げられる。＜快感情＞に関する回答は「とてもリラックスできました。安心感を与えてもらいました」「いつでもどこでも、緑があると安らぐ」が具体的な例として挙げられる。

このほか、植物のバリエーションを増やしてほしい、季節の花がほしい、香りのする植物が良いというような要望や、もっと目立つ場所に棚を置いたほうが良い、緑に囲まれた空間があると良い、予備校でも行ってはどうか、といった＜提案＞に関する回答があった

また、「一時的ではなく続けて欲しいです」というように今回の取り組みの継続を希望する回答が得られた。

植物に触れる体験を通じ、植物を身近に置いてみたい、育ててみたいという

ように「感化」されたというような回答も複数あった。ほかに、植物が可愛らしいといった愛着を感じさせる回答や、同じものを家や仕事場に欲しいとの回答も複数あった。

一方で、「サボテンはとても痛い」「枯れ死寸前の株が見えたため、担当者が対応しきれいるのか不安に思った」、「植物たちに少し元気がない気がします」、「管理が悪く、枯れかけたりすると図書館の印象が悪くなってしまう等、植物の状態や栽培管理に対して「懸念」を示す意見も複数得られた。

#### 4. まとめおよび考察

今回の調査では以下のことが示された。

- ・利用目的によっていくつかに分類したが、いずれの図書館においても、机上に植物を置くことで感じた効果として「リラックス」と回答した割合が最も多かった。その次に多くの図書館で「集中力向上」、「目の疲れ軽減」の順で、利用目的によって感じる植物の効果に大きな差はみられなかった。令和5年度に泉大津市立図書館で行った調査では感じた効果として「リラックス」が93%と最も高い割合で選択されており、今回も同様の結果が得られた。机上に植物を置くことによるリラックス効果については豊田ら（2020）の3分間のネイチャーブレイクに関する研究でも実証されている。今回は、植物棚に3分間のネイチャーブレイクの効用について掲示したが、「疲労を感じた時に3分間植物を見る」ことは依頼しなかった。植物を見ることのリラックス効果を紹介するだけでも、植物を机上に置くことに興味を持つ人は、机上の植物を適宜見て、リラックス効果が得られる可能性が示された
- ・回答者の性別は男性32.8%、女性66.0%、回答したくない1.2%で女性が多かった。令和5年度の泉大津市立図書館でのモニター調査の結果は男性26%、女性が68%、回答したくない5%であり、ほぼ同様の結果となった。図書館における今回のような取り組みは、比較的、女性に関心を示す傾向があることが示された
- ・図書館の利用目的別に分けると、6館で「学習」を主な目的とする利用者の回答が多く、3館で「読書」、2館で「仕事」を主な利用目的としていた。残りの1館は利用目的の偏りがなかった
- ・「学習」を利用目的と回答した者が多い図書館では回答者の年齢層は10～20歳代が多くを占めた。「読書」利用の多い図書館の回答者の年齢層は幅広く

なり、「仕事」利用の多い図書館では30歳代以上が多かった

- ・サボテンが選択肢になかった1館を除く全ての館でサボテンが最も頻回に選択された。今回の結果からは、若い世代では花や葉を楽しむ植物よりも、ユニークな形状でトゲをもつサボテンが好まれる傾向がみられた。今回は選択理由まで確認していないため、選択の理由が不明であることから、今後、若い世代を対象とした調査を行う際は、選択理由も含めて調査することで、鉢物の今後の販路拡大の重要な情報となりうる可能性がある
- ・自由回答では今回の取り組みに対する肯定的な反応や、快感情が得られたとの記載が多くみられたほか、アンケートにて今後の取り組み継続について尋ねたところ、すべての図書館で70%以上の回答者が継続を希望し、7館では90%以上の回答者が継続を希望した。今回の取り組みに比較的好意的であった利用者がアンケート記入に協力した可能性については考慮する必要があるが、図書館内に植物を設置し、好みの植物を机に持っていくことができる今回のような取り組みは、本と机、書棚といった整然とした家具に囲まれた空間の中で、安らぎを感じることができ、利用者に広く受け入れられる可能性が示された
- ・アンケート項目にはないが、各図書館を訪問した際、職員の反応について確認した。職員も好意的に様子を見ているとの回答が多かったが、一部で、最初は植物を置くことに懸念（水で本が汚れないか等）を示す職員がいたとの回答があった。しかし、利用者が植物を机に持って行って過ごしている様子を見たり、学生が植物を介して楽しそうに会話をしたりしている様子を見て、肯定的な考えに変化したとの情報も得た。また、調査終了後も継続して植物を設置したいと希望した図書館もあり、図書館内に植物を置くことの長期的な効果を調査することができれば、図書館利用者および図書館職員への効果についてより具体的な検証を行うことができる可能性がある
- ・一方で、今回の取り組みを継続してほしいとの利用者の声があることから、継続して取り組みたいが、植物管理に対する自信のなさや、業務負担の増加、枯死させてしまうのではないかと責任の重さがあるために、調査後の継続には前向きになれないとの返答もあった。今回のような取り組みを継続的に行うためには、いかに負担なく、図書館職員が植物管理に取り組めるか、その仕組み作りが課題であることが今回の結果から示された



## 5. 今回調査にご協力いただいた図書館一覧

- ・鴻巣市立鴻巣中央図書館（埼玉県）
- ・柏市立図書館（千葉県）
- ・東京都立立川国際中等教育学校・  
附属小学校図書館（東京都）
- ・立川市立中央図書館（東京都）
- ・豊橋市まちなか図書館（愛知県）
- ・泉大津市立図書館（大阪府）
- ・堺市立西図書館（大阪府）
- ・豊中市立岡町図書館（大阪府）
- ・豊中市立野畑図書館（大阪府）
- ・亀岡市立図書館（京都府）
- ・広島都市学園大学附属西風図書館（広島県）
- ・広島都市学園大学附属宇品図書館（広島県）

## 謝 辞

本研究では、ご協力いただいた各図書館長様をはじめ、各図書館職員の皆様には多大なるご理解・ご協力を賜りました。

また、一般社団法人日本インドア・グリーン協会理事長 大林修一様、全国鉢物類振興プロジェクト協議会事務局および、一般財団法人日本花普及センターの西岸芳雄様、月山光夫様にもご協力いただきました。

ここにあらためて、感謝の意を表します。誠にありがとうございました。

令和7年3月17日

兵庫県立淡路景観園芸学校  
兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科  
豊田 正博  
劔持 卓也

